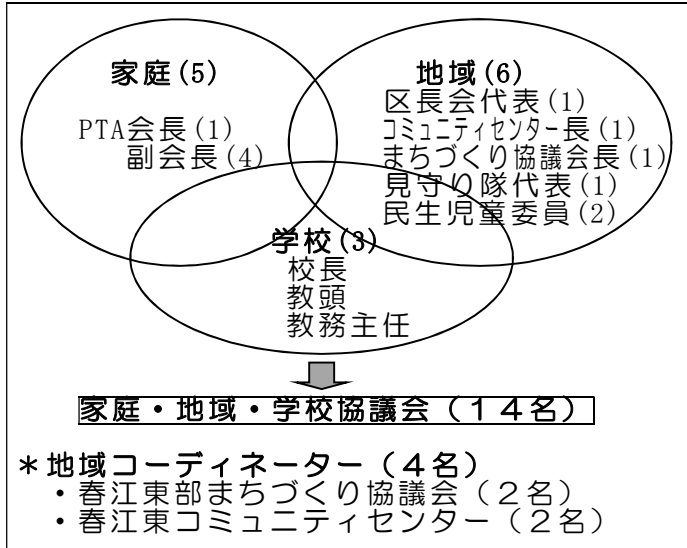


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の開催計画

- ① 開催回数 年1回
- ② 開催日程 2月
- ③ 協議内容
 - ・活動経過の確認と検討
 - ・活動報告および学校評価アンケートへの提言
 - ・学校の教育活動についての情報交換および提言
 - ・登下校見守り活動への協力体制づくり
 - ・家庭・地域の教育力向上に関する情報交換および提言

(3) 協議会における成果と課題

日常、それぞれの立場から、地域の声を聞かせていただけた。また、地域と進める体験推進事業では、報道機関への連絡など多大な協力をしていただけた。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

春江町東部地区で取り組まれている「アーモンドの里づくり」事業に参画し、実の収穫やアーモンドを使った活動に取り組むことで地域の魅力を知り、ふるさと「春江東部」の自然や人に関心を持ち地域を愛する児童を育成する。

(2) 活動の実際

① アーモンドの収穫体験 (6年生)

春江東部地区では、2011年からまちづくり協議会が中心となり、アーモンドによるまちおこしを実践している。学校のグラウンドのまわりや、春江B&G体育館敷地内に、アーモンドの木が植えてある。6年生からは、「今年も、地域に育っている実を収穫したい」という要望が出た。地域コーディネーターに協力を依頼し、9月に6年生が実の収穫に出かけた。収穫したアーモンドは「まちづくり協議会」の事業の材料にも使われた。

② アーモンド染め体験 (5年生)

地域コーディネーターから、アーモンドの枝を利用した草木染めの紹介があり、5年生が体験することになった。材料となるアーモンドの木の枝切りは、まちづくり協議会の人に手伝っていただいた。草木染めの石川雅夫先生を講師に迎え、絞り染めの技法でハンカチ染めに挑戦した。活動の様子や、作品一覧をタブレットを活用して記録として残し、模様を並べたりして楽しんだ。またその映像を保護者会の日に保護者にも見ていただき、好評を得た。

③ アーモンドチョコ作り体験（6年生）

前年度同様、アーモンドを使ってお菓子作りをしたい、という6年生の要望に応え、地域コーディネーターやボランティアの方と一緒にアーモンドチョコ作りを行った。アーモンドチョコ作りには、地域コーディネーターに講師を依頼したところ、前年度同様コミュニティセンターで「お菓子作り」講座を担当されている方を紹介していただいた。この方は、6年児童保護者でもあり、児童もより楽しく取り組むことができた。作ったアーモンドチョコは、6年生が給食時に全校に分け、皆でおいしくいただいた。

(3) 特に工夫した事項

アーモンドチョコを全校に配り、アーモンドについて校内への啓発活動ができた。また、「福井ふるさと教育フェスタ」において、5年生児童が作成した模造紙資料が掲示され、児童の次年度に向けての意欲付けにもつながった。

2 地域コーディネーターについて

(1) 地域コーディネーター（4名）

まちづくり協議会委員（2名）、春江東コミュニティセンター職員（2名）

(2) 地域コーディネーターの活動概要

アーモンドの世話（肥料やり、草取りなど）を行ったり、児童の活動の準備や指導・補助を行ったりした。また、活動の手伝いを依頼するため、まちづくり協議会の会員や、ボランティアとの連絡・調整を行った。

3 成果と課題

まちづくり協議会のご尽力で、活動の様子は新聞等にも取り上げられ、地域・保護者への啓発にもつながった。また、まちづくり協議会が発行する広報紙にも掲載され、春江東部地区全戸に紹介された。今後は、児童自身の力でどこまで、地域に啓発していけるかが今後の課題である。



<令和元年12月6日 福井新聞より>